

# みくりや (御厨) 第3号

国立駿河療養所広報誌

## 特集：平成25年度所内行事写真集



### 国立駿河療養所の理念

- 一 入所者の皆さまの人格を尊重します
- 一 安全で快適な生活ができるようつとめます
- 一 安心して受けることのできる医療を提供するようつとめます
- 一 ハンセン病の正しい知識をひろめ地域との交流をめざします

青山先生の後を引き継ぎ、4月から駿河療養所の所長を拝命いたしました。基本はこれまでの方針と変わりありませんが、今後とくに重点となることを3つのミッションとして述べさせていただきます。

高齢化した入所者は今後、年毎に確実に減少していきます、結果的に職員も削減されることでしょう。このことは所運営に大きな影響を及ぼし、とくに医療面では病院機能そのものが維持できない事態になると予想されます。



このような事態を避けるに、どうすればよいのか。それには、将来構想案にもある「地域の医療機関」として生き残るしか、道はありません。これは自治会の要望でもあります。このような方向の第一歩として、昨年病棟は保険診療機関の認可が下りました。今年はさらに前進せねばなりません。まずは、近隣地域の病院と連携した、一般患者の病棟受け入れ体制のための整備を行っていきます。目の前に富士山という世界遺産を眺望する、静かで療養環境に優れた地域医療施設として存続させること、これが私の第1のミッションです。

今年は2月に大雪被害を受けました。私は2回目の大雪の際の当直医師でしたが、大雪に加え、突然の停電で施設機能が麻痺する事態に直面しました。官舎職員が召集され、除雪・復旧作業を行い、被害を最小限に食い止めたことは不幸中の幸いでした。このとき感じたのは、設備や連絡の不備などです。このような経験を踏まえて、予想される災害に備えねばなりません。今後、災害には強い施設を目指して対策を考えていきます。これが第2のミッションです。

第3のミッションは、駿河療養所は看護・介護・コメディカルなど、人材育成機関を目指すということです。当療養所は看護の原点を学べる点に特徴があり、看護・介護職員の欠員が少ない施設です。またリハビリなど専門的なコメディカル職員も充実しています。最近3年間に、看護上級職への登竜門である幹部看護師任用候補者選考にて7名の選考合格者をだし、素晴らしい成果を上げています。志を持った職員は上級職種の試験・資格に、積極的にチャレンジできる仕組みづくりをしたいと思います。

以上、私の考えるミッションですが、私一人だけでできることではありません。職員の力が結集されてはじめて実現します。予想される困難な事態も、全職員の協力をいただければ乗り切れると確信しています。とにかく、生き甲斐を持って働ける職場、働いて楽しい職場を目指していきます。私自身は浅学で微力な人間です。しかし、物事に諦めず、頑張っていきます。皆様どうぞよろしくお願いたします。